

旅行記 木曾路

平成20年10月16日～17日(1泊2日)

親睦旅行会会長 高藤佳浩

こんにちは

10月16日(木)晴天に恵まれ徳島を7:00に出発、42名の若者たちを乗せて大鳴門橋を渡る。淡路SAで定番のトイレ休憩、これより明石大橋→名神高速では、徳川方豊臣方が歴史に名高い天下分け目の関ヶ原戦。徳川家康、石田三成の動向をガイドさんが見て来たような話に聞き惚れているとやがて小牧ジャンクションで→中央自動車道と進む。中津川で降り恵那にて少し遅い昼食を取る。朝が、早かったのでお腹が空いていた所為か大変美味しい昼飯でした。ホテルに到着、時間と夕食、その後の関係で予定の行程変更をせざるを得なくなり岩村の城下町散策を取りやめ、予定の行程になかった旧中山道の妻籠宿の散策となりました。妻籠宿は祖谷より山深いと思わせる山里で此所を今テレビで人気の和宮が東海道を通らずに山奥深いこの中山道を選ばれ、警護、付き添人等、3万人以上をお供にして通られたと言う。費用は現在にすれば数百億円を徳川が負担したとガイドさんの話、あなた信じられますか。3万人以上がどこ

に寝るんだ、やがて宿に着く、ホテル木曾路は割と新しく内装もよく一番嬉しかったのは温泉がたいへん気持ちよく今日の疲れも取れ皆さん満足して良く休まれたことでしょう。

10月17日

今日も晴天、上天気だ。さあー出発、善男善女42名が唄で知られた木曾の御嶽山(3,067米)参り登山に向かう。

御嶽山修験行者、登山歴50年の大先達、宮本麻雄さん(丸八商事)近藤久之さん(勤誠実業)の先導でバスは安全安心で出発一路麓の→鹿ノ瀬駅へ御嶽ロープウェイに乗って(長さ2,333米、標高差570米)高原駅(2,150米)まで上る。高原駅で降り少しうえの社に参拝、御嶽山頂上の社まではまだまだ1,000米近くある。私たち親睦旅行会は此所まで。里では頂上まで見えていたのにいまは残念ながら雲の帽子を深くかぶり見えない、高い山は気候の変化が早いことを教えてくれたのでしょうか。



南アルプスの3,000米を超える山々、中央アルプス、北アルプス、乗鞍岳（3,026米）などの名山、これら3名峰の大パノラマが展望でき、山育ちのおれが感動しました。

頂きに雪の帽子を深くかぶっていてくれればバンザイなのだが少し残念でした。この感動をボンクラ脳（筆者）に入れつつ山を下りる。

夕食の宴会で飲み過ぎで胃もたれあり、木曾で、御嶽山で、日本で、超有名な百草丸（御嶽山日野百草本舗）を求めて立ち寄る、此れより土産店兼ドライブイン寝覚めの床にて昼食をとる。店の裏側を木曾川が流れ、たいへん大きい岩床を神様がのみで切り取って流れを作ったように見えます。此所が寝覚ノ床といひまた浦島太郎伝説の発祥地と地元では言われている。食事もそれなりに美味かった。此所で予定の旅行行程は終わり、バスはドライバーさんに命を預け一路帰徳への道をまっ

しくら。ドライバーさんが努力のお陰で半時間ほど早く参加者42名**全員無事帰徳**できました。**有り難う御座いました。**

※今回の親睦旅行に際し中央支部長、阿南海部支部長さんにはたいへんご協力をいただきキャンセル待ちをしてもらう程の満員御礼です。**謝謝**
※近藤久之、宮本麻雄両先生には日野百草本舗で信頼の顔を利かせて頂き、だい大サービスのお陰を受けました。**有り難う御座いました。**

ひとりごと

紅葉には10日ほど早すぎ雪帽子には2週間ぐらい早かったのでは、半ばじゃの俺に似てでもさ、山上の大パノラマと温泉はよかったね。**感謝**

